

# 浄土真宗本願寺派 西光寺寺報

「ごあいさつ」

住職 内嶋 洪淳

門信徒の皆様、日頃より当寺の護持発展に何かとご尽力をいただき、厚く御礼申し上げます。平成18年度も終わり、先般役員会において護持費の決算の承認を受けましたので、ご報告させていただきます。今年度も引き続きご協力のほどお願いいたします。

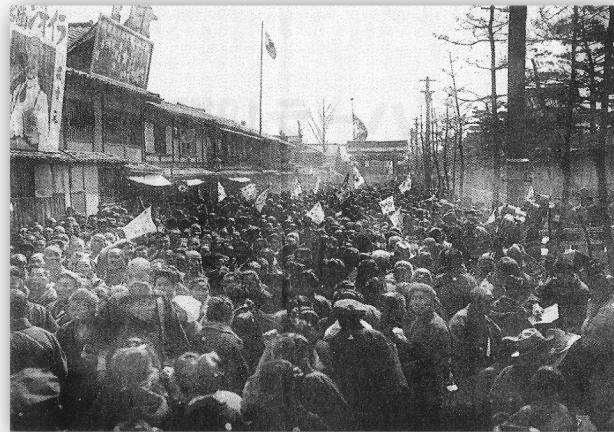
昨年は京都本願寺より宗祖親鸞聖人750回大遠忌法要のご消息が告示され、その法要懇志の依頼が参りましたので、ご無理をお願いいたしました結果、大多数のご門徒の皆様にあたたかいお念仏の力にて目標額に達しつつあります。

このたびのご法要は宗祖親鸞聖人の教えをいただく真宗すべての人々（御同行・御同朋）がお迎えする大切なご勝縁であります。この50年に1度の大遠忌を私たち全員の協力で成功させたいものです。そのためにもご門徒の皆様には、いろいろとご事情はおありとは存じますが、真宗門徒の責務と考えら

れますのでよろしくご配慮いただき、来る平成23年4月から平成24年1月にかけて厳修される宗祖750回大遠忌法要には門徒一同でご本山に参拝したいものです。今から100年前（明治44年・1911年）の宗祖650回大遠忌の法要では京都駅から本願寺まで人々の波とお念仏の声絶えることがなかったと報道されています（写真は本願寺新報より）。

この期間中の参詣者は100万人を越えたと記録されています。

去る平成19年3月31日をもつて大遠忌法要懇志の第一次の勸励期間が終わりましたので、これまでに進納されました方のご芳名をご報告させていただきます。引き続き第二次の勸励期間に入りますので、ご進納よろしくお願いたします。



宗祖750回大遠忌法要懇志進納ご芳名一覧 50首順

- |      |     |
|------|-----|
| 神明   | 神明  |
| 南本町  | 神明  |
| 北本町  | 北本町 |
| 北本町  | 春江町 |
| 北本町  | 安島  |
| 神明   | 山王  |
| 福井市  | 神戸市 |
| 宿    | 愛知県 |
| 東京都  | 北本町 |
| 北本町  | 青葉台 |
| 福井市  | 神明  |
| 陣ヶ岡  | 陣ヶ岡 |
| 陣ヶ岡  | 陣ヶ岡 |
| 埼玉   | 宿   |
| 千葉県  | 滝谷  |
| 滝谷   | 米ヶ脇 |
| 北本町  | 北本町 |
| 運動公園 | 山王  |
| 安島   | 安島  |
| 寝屋川市 | 神明  |
| 神明   | 神明  |

## 「若院、印度仏跡を訪ねる」

去る2月13日より3月6日まで、当寺若院、釈尊が念願の印度に行きまして、お釈迦様の足跡を訪ねて参りました。昨年一緒に住職課程を受講した友人たちとの有意義かつ楽しい旅でした。

お釈迦様がお生まれになったルンビニー（現在ネパール領）、覺りを開かれたブツダガヤ、初転法輪の地サルナート、涅槃に入られたクシナガラなど、八大聖地をめぐることができ、たい



へん有り難く思っております。その他にもヒンドゥー教の聖地ヴァラーナ



スイーや世界遺産のタージマハール、皆さんのお家でもよくお勤まりになります「仏説阿弥陀經」を説かれた祇園精舎にもお参りできました。祇園精舎ではみんなで阿弥陀經をお勤めしました。その他の聖地でもみんなでお勤めすることができて、万感の思いでございました。写真は、私一人で写っているものがブツダガヤーでのものです。後ろがブツダガヤーの大塔（高さ52m）で左の電柱みたいなのはアショカ王※が仏跡に立てられた「アショカ王柱」（上の部分は壊れている）です。もう一枚はクシナガラでお釈迦様の涅槃像と写したものです。

さらにみんなと別れてからコルカタ（旧カルカッタ）に行き、マザーテレサの施設を見学し、印度博物館では、どうしても見たかった「仏舍利」（お釈迦様のご遺骨）も見ることができました。いつかまた、今度はご門徒の皆さんと一緒に印度を訪ねることが私の夢です。どうですか？本気で印度に行ってみませんか？

※ アショカ王

インドで最初の統一王朝のマウリヤ朝最盛期の王。多くの殺戮を繰り返し、「残忍アショカ」と呼ばれた外道な前半生であったが、仏教に帰依した後は「法のアショカ」と呼ばれる聖者としての後半生であった。仏教の聖地に八万四千の仏塔を建てたといわれる。

### 「読者の声より」

ご門徒のMさんから、寄稿いただきました。全部を掲載できずまことに申し訳ありませんが、一部をご紹介します。

「寺報一号二号興味深く拝見しました。

一号の仏壇のお水のこと、どこかで「仏さまも米を食べるとき、水分を取らないと喉が渇くから」と友人が仏壇にお供えしていたのを見たことがあります。なるほどとは思いましたが、私は面倒なのであげておりません。正解でした。

二号の供花の件ですが、姑が三年前に亡くなってお客様が見えて忙しかったときに、夫にお花をあげて頼みました。手が空いたときに仏壇に入ってみるとお花が逆を向いています。私が夫を「いつもお参りしたことがないからこの歳になっても常識がわからんのや。」と咎めましたら、夫は「仏さんにあげる花や、仏さんに向け

てあげるのが本当や。」と口争いになりました。その後、お葬式やお寺参りに行って納得したようです。意味がわかるように二号の記事を読んでもらいます。」

### 「誰にも聞けないお仏壇の話」

第3回「お線香は立てないの？」

線香は江戸時代中期に考案されたもので、燃香という正式な作法を略式にしたものです。そのため、たとえ線香を用いても形は燃香に近いように線香を香炉の大きさに合わせて2、3本に折り、横に寝かせて供えます。お仏壇の香炉が金香炉でも小さいという場合はご相談ください。

なお、浄土真宗本願寺派における焼香時の作法では、焼香時に香を持ち上げておしいたぎません。焼香の作法は、まず焼香台の前進み（正座し）、ご本尊に向かって軽く一礼し、香を右手でつまんでそのまま一回だけ（大谷派は2回）香炉にくべます。その後合掌、そしてお念仏を唱えながら礼拝し、再度ご本尊に一礼して退出という順序です。

### 「編集後記」

ご門徒の皆さんからリクエストもいただいています。次回はそれにお応えできるよう頑張ります。ご期待ください。合掌